

## 「予測と観測 (2)」

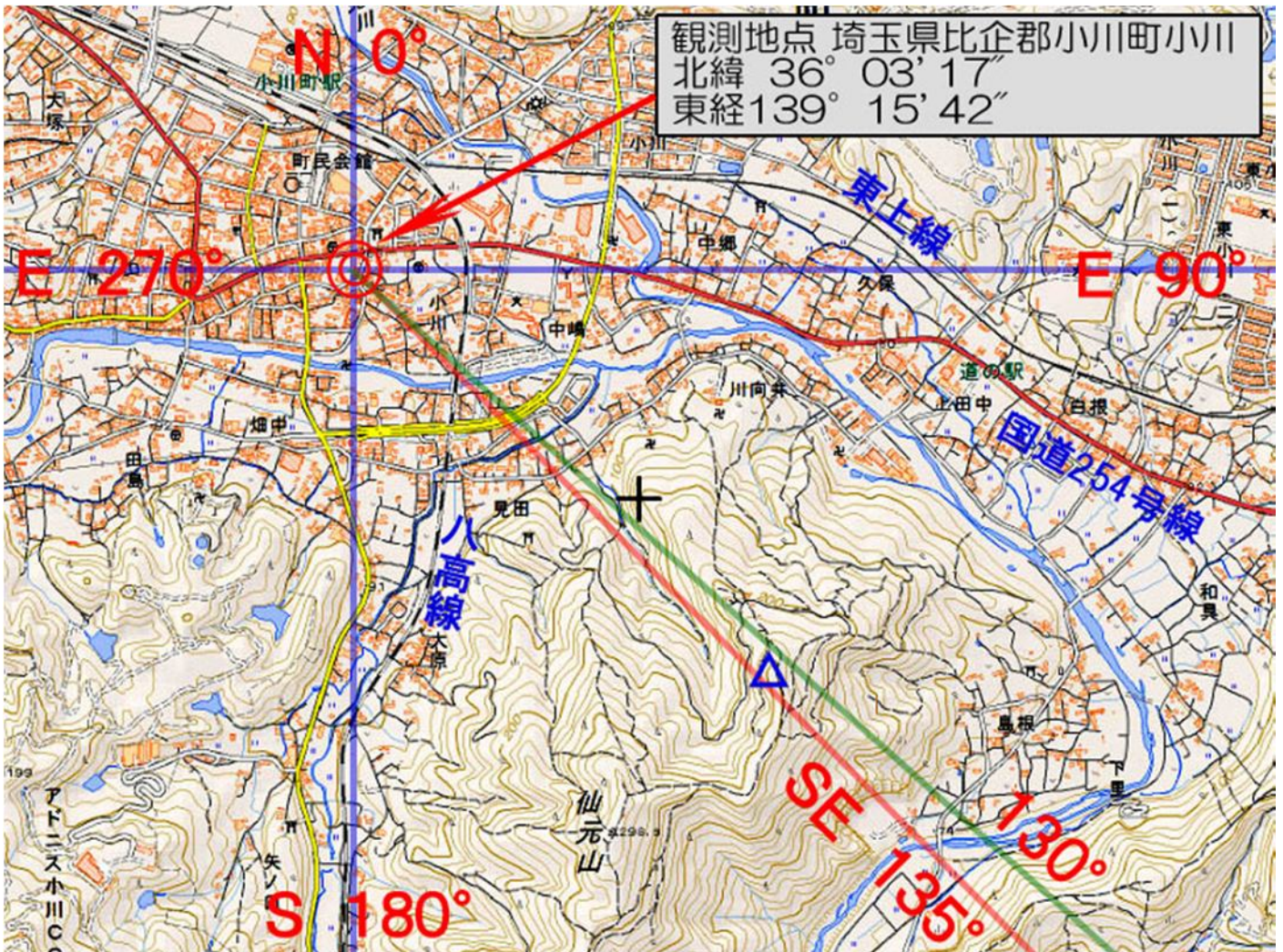
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



1月25日未明のISS通過の様子は、埼玉県小川町に設置したネットワークカメラを、東京から遠隔操作して観測することにした。設置されているカメラは、上下・左右・広角・望遠・シャッタースピードなど、すべてをインターネット経由で遠隔操作が可能になっている。

大切なことは、最も適した方角・高度にカメラを向け、露出(明るさ)もベストに調整しておくことである。その為には、地図上で見える方位を正確に特定しておく必要がある。

(左)「パナソニックネットワークカメラ」(本来は防犯・監視用)



「ISSの方位を決定する為の地形図上のプロット」 国土地理院地形図より作成 作図 ; C. Tanaka

カメラを設置してある場所は、地図の青い経緯線交点(◎地点)である。ISSが見える方位角130°は、ほぼ南東方向で、その近くには仙元山(せんげんやま)という目立つ山がある。130°は地図上の緑の線方向で、等高線を見ると、稜線上にもう一つの小さなピークがあることがわかる(△地点)。この方向にうまくカメラを向けておけば、撮影は必ず成功する・・・と「予測」した。(つづく)